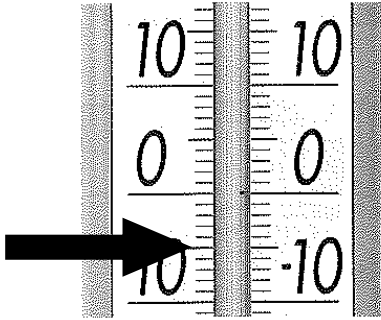


教科書 p 24 ~ 27

数の計算

<問題1> 下の温度計を見て答えましょう。

- ① 北海道や東北地方など寒い季節になると下の温度計のような気温になることがあります。これまでの理科の学習や生活体験をもとに、矢印の気温を答えましょう。



()

- ② ①の気温について言葉で説明しましょう。

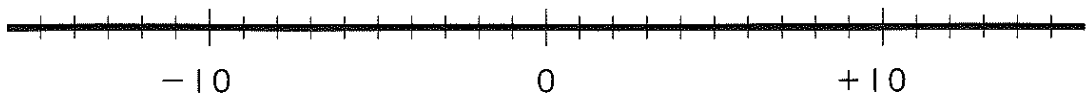
0℃より5℃低い温度は、「-」を使って、 $-5℃$ と書き、「マイナス5度」と読みます。「マイナス5」は0より5小さい数ということです。

0を基準として、0よりも小さい数は「-」（マイナス）を使って表しますが、0よりも大きい数は、「+」（プラス）を使って表すことがあります。

このとき、0よりも大きい数を正の数、0よりも小さい数を負の数といいます。

- ③ 次の温度を+（プラス）-（マイナス）をつけて答えましょう。

その際、数直線を活用しましょう。



0℃よりも8℃高い温度 ()

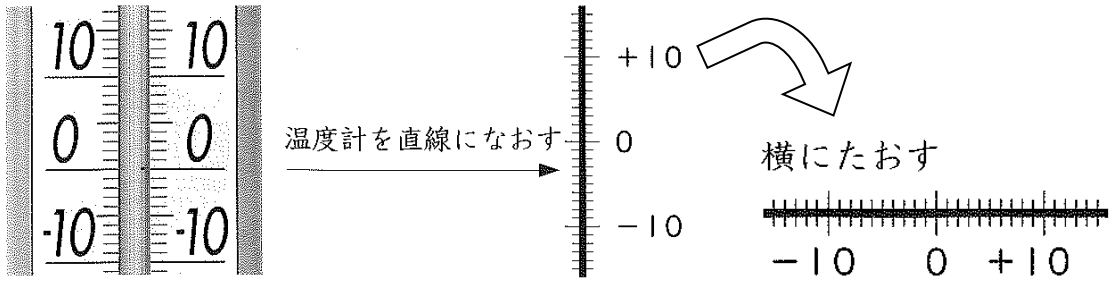
0℃よりも3℃低い温度 ()

+3℃よりも7℃高い温度 ()

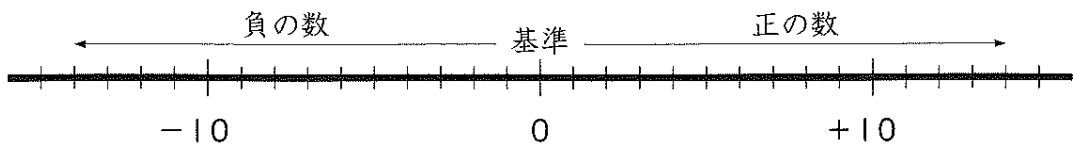
-4℃よりも5℃低い温度 ()

-7℃よりも5℃高い温度 ()

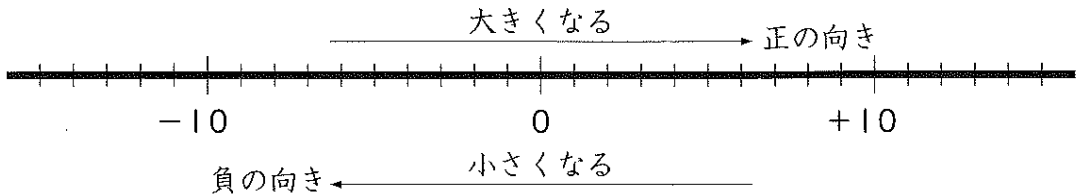
問題1にあったように、0や正の数、負の数は、これまで学習してきた数と同じように数直線の上に表わすことができます。



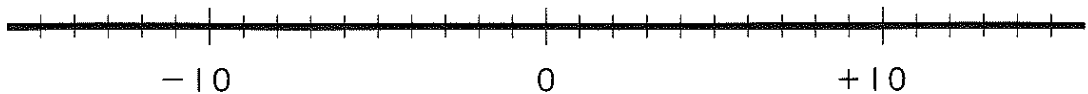
負の数をふくめた数直線をかくと、0は何もないことを表しているのではなく、1つの数であると同時に、正の数と負の数に分けるための基準となっていることがわかります。



また、数直線では右の方向を正の向き、左の方向を負の向きといい、右側に行くほど大きく、左側に行くほど小さくなります。



<問題2> 次の数を数直線に↑を入れて書き込みましょう。



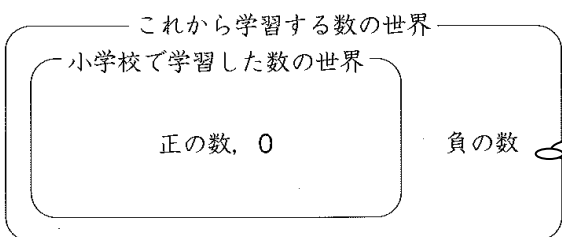
① +11

② -9

③ +7

④ -3

⑤ -15



負の数を学習すると、数の世界が広がります。